カルバペネム耐性菌の菌株・臨床情報を収集する研究にご協力いただける医療機関を募集しています

多剤耐性菌感染症の臨床情報および試料収集に関するレジストリ研究
～疾病負荷および経済評価の検討～
（MDR-BIRD）

代表研究機関：国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
研究代表者：齋藤　翔

本研究の目的

カルバペネム耐性菌の臨床情報と菌株情報をレジストリとして集約し、カルバペネム耐性菌の検出された患者の疫学的特性や予後、更に菌株の微生物学的特徴や、疾病負荷や経済的評価との関連性について明らかにすることを目的としています。

本研究で収集するカルバペネム耐性菌

- CRE:カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（Carbapenem-Resistant *Enterobacterales*）
- CRPA：カルバペネム耐性緑膿菌（Carbapenem-Resistant *Pseudomonas aeruginosa*）

連絡先

https://forms.office.com/r/yrLJnXyNAS

参加をご検討いただける場合、ご質問のある場合は、
上記URLまたは右記QRコードから、ご所属名、お名前、メールアドレス等をお知らせください。資料や情報を送付させていただきます。

研究フロー概略

①菌体送付はJARBSを活用いたします。
②REDCapというシステムにて、症例情報の入力をお願いします。
③症例数に応じた協力金をお支払いいたします。
④データ・菌株情報の利用可能です（※別申請必要）

今回募集している
医療機関

MDR-BIRD研究
収集条件

※入院症例のみ
※感染例のみ
※菌血症・菌血症以外かは問わない

CRE
MEPM：MIC≧0.25
（μg/mL）

CRPA
MEPM：MIC≧8
（μg/mL）

1 菌株送付
JARBS

2 臨床情報入力
REDCap

3 協力金

4 利活用（論文・学会発表等）
※別途申請必要

国立健康危機管理研究機構 JIHS Japan Institute for Health Security
NIID 国立感染症研究所 NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

JIHS 国立国際医療センター National Center for Global Health and Medicine

Q&A

Q1: JARBSとは何ですか？

A1：JARBS（Japan Antimicrobial resistant Bacterial Surveillance）は、国立感染症研究所薬剤耐性研究センターが、2019年に国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)の支援を受けて開始した、日本全国を対象とし厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）とリンクした薬剤耐性菌のゲノム解読に基づくサーベイランスです。
詳細は、https://jarbs.net/ をご覧ください。

Q2：院内で倫理審査委員会の審査等の手続きは必要ですか？

A２：倫理指針上の「既存試料・情報のみを提供する機関」として参加いただくため、倫理指針第8の（4）ウに基づき、所属機関の長の許可が必要なのですが、各施設によって手続き方法が異なります。
詳細は、送付させていただく資料にも記載させていただいております。

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
MDR-BIRD事務局
MDR-BIRD@jihs.go.jp

AMR Clinical Reference Center